

令和5年8月31日
一般財団法人 国土技術研究センター

**(一財)国土技術研究センター、水害リスクを自分事化する仕組みを検討する
「災害の自分事化協議会」を設置
～水害伝承に関する良質な情報(コンテンツ)の普及・拡大へ～**

(一財)国土技術研究センター(理事長 徳山日出男)では、災害のたびに繰り返される「まさか自分が」という油断が招く悲劇をなくすために、「災害の自分事化協議会」を設置します。

近年、豪雨災害が頻発し毎年のように犠牲者が発生していますが、自治体から避難情報が出されても避難率は低く、多くの人は災害が起こるまで災害を自分のこととしてとらえていないのが現状です。新たに設置する協議会では、全国各地に残る災害伝承に係る情報(コンテンツ)のうち、心を揺さぶり行動に誘う良質な情報を発掘・育成するとともに、その情報を伝える仕組みを全国で展開することで、災害を自分事化し人々の防災行動を変えていくことを目指します(参考資料別添)。

災害伝承に関わる情報や取り組みはこれまでも各地にあります。それらを体系的に整理して普及させる活動は全国で初めてのものです。

協議会ではスペシャリアドバイザーとして、磯田道史国際日本文化研究センター教授を迎え、会長には東日本大震災等の防災に関する研究の第一人者である今村文彦東北大学教授が就任予定。協議会の活動については国土交通省の後援をいただいています。

今年度は協議会で行う活動内容として、災害伝承に係る情報の登録・認定制度を新たに創設することなどを議論・整理し、来年度から具体的な活動を行っていく予定です(委員名簿別添)。

※ 本協議会は、国土交通省が設置した「水害リスクを自分事化し、流域治水に取り組む主体を増やす自分事化検討会」による検討を踏まえた取り組みです。

第1回協議会：(傍聴可。写真撮影は冒頭の主催者挨拶まで。)

日時：9月4日(月)15時～

場所：港区虎ノ門3-12-1 ニッセイ虎ノ門ビル7F(国土技術研究センター内会議室)

傍聴を希望される方は、9月1日(金)、17時まで、社名、代表者氏名、連絡先(電話番号)、取材予定人数を下記事務局宛、ご連絡下さい。

問い合わせ先：(一財)国土技術研究センター 「災害の自分事化協議会」事務局

TEL: 03-4519-5001(河川政策グループ) FAX: 03-4519-5011

(別添1) 参考資料:本協議会の背景

1. 伝わらない災害の教訓

写真1は、2018年7月の西日本豪雨による行方不明者の捜索にあたる広域緊急援助隊(大阪府警)。この写真に写っている石碑には、この地で111年前(明治40年7月)に土砂災害があった旨が記されている。石碑(写真2)が残す教訓は残念ながら活かされなかった。



写真1:行方不明者の捜索状況(撮影:大阪府警察)



写真2:「水害碑」(撮影:JICE)

2. 伝わることで救われる命

2022年8月、新潟県村上市で土石流が発生した。村上市小岩内地区では、一旦、集落の公会堂に避難したが、50年前の羽越水害(1967年)の教訓を知る区長がここでは危ないと住民をさらに高台に誘導。その後、土石流が発生し、民家や公会堂が被災したが犠牲者は出なかった。(写真3、4)



写真3:土石流による被害状況



写真4:公会堂内には羽越水害当時の写真が飾られている(撮影:JICE)

3. 災害の教訓を伝える情報(コンテンツ)とその情報を普及する仕組みの例

1) 稲むらの火

安政南海地震津波(1854年)に際して、暗闇の中で逃げ遅れていた村人を高台にある神社の境内に導くために、収穫したばかりの稲を積み上げた「稲むら」に火を放った濱口梧陵の物語。社会科や道徳の教科書にも取り上げられ、地元広川町では小学校の副読本となっている。

2) 大したもん蛇まつり(写真5)

羽越水害(1967年)の発生後20年を契機に始まった祭り。当地には大蛇伝説があり、竹と藁でつくられた大蛇を担いで町内を練り歩く。大蛇の長さは水害発生日(8月28日)に合わせた82.8m。



写真5:大したもん蛇まつり(出典:関川村環境協会 HP)

(別添2)

災害の自分事化協議会 委員等名簿

委員

今村 文彦 東北大学 災害科学国際研究所 津波工学教授
大知 久一 一般社団法人 日本損害保険協会 専務理事
岡村 啓太郎 全国地方新聞社連合会 副会長・政策委員長 (高知新聞社東京支社長)
笹原 克夫 高知大学 教育研究部 自然科学系理工学部門 教授
佐藤 翔輔 東北大学 災害科学国際研究所 准教授
所澤 新一郎 一般社団法人 共同通信社 気象・災害取材チーム長
徳山 日出男 一般財団法人 国土技術研究センター 理事長
針原 陽子 読売新聞東京本社 防災情報サイト「防災ニッポン」「防災ニッポン+
(プラス)」編集長
廣瀬 昌由 国土交通省 水管理・国土保全局長

(敬称略、五十音順)

スペシャルアドバイザー

磯田 道史 国際日本文化研究センター 教授